

かごしま就職氷河期世代活躍支援プラン 【概要】

I 趣旨

【計画期間】 第一ステージ：令和2年7月22日～令和5年3月31日
第二ステージ：令和5年4月1日～令和7年3月31日

- バブル崩壊後の雇用環境が厳しい時期（概ね平成5年から平成16年）に学校卒業期を迎えた、いわゆる「就職氷河期世代」においては、卒業時、不安定な就労や無業に移行したことが端緒となり、今なお、不安定就労等を余儀なくされている者も少なくない状況にある。
- そのため、かごしま就職氷河期世代活躍支援プラットフォームでは「かごしま支援プラン」を策定し、就職氷河期世代の方々の活躍の機会が広がるよう、県内の気運を醸成し、各界が一体となって効果的かつ継続的な取組を推進していくこととする。

①不安定な就労状態にある方

II 目標

- 正規雇用者数 2,700人以上（5年間）

III KPI

- ①ハローワーク紹介による正社員就職件数
第一ステージ 5,500件
第二ステージ 4,690件
- ②キャリアアップ助成金活用による正社員
転換件数 第一ステージ 2,500件
第二ステージ 1,490件

IV 主な取組等

- ハローワーク鹿児島、国分「35歳からのステップアップ窓口（就職氷河期世代専門窓口）」での重点的な支援
- 安定就労に有効な職業能力等の習得を目指す公的職業訓練を実施
- 就職氷河期世代を対象とした求人の開拓
- マッチングイベントの開催

②長期にわたり無業の状態にある方

II 目標

- 就業を希望しながら、様々な事情により長期無業の状態にある方について、本人に合った形の支援が必要であることから、地域若者サポートステーション（サポステ）を中心に関係機関と連携した職業的自立につなげることを目指す

III KPI

- ①サポステにより実施した相談件数
第一ステージ 2,000件
第二ステージ 1,350件
- ②サポステの支援により進路決定（就労・訓練等）につながった件数 第一ステージ 100件
第二ステージ 65件

IV 主な取組等

- サポステ事業の支援対象年齢を49歳までに拡大
- サポステ事業による自立相談支援機関や福祉機関等への出張相談の実施
- 支援対象者に対するイベント（セミナー、職場見学・体験等）の開催

③社会参加に向けた支援を必要とする方

II 目標

- 当事者やその家族の希望に応じ、市町村における居場所の整備、その他対象者の状態に合わせた支援を行うための多様な取組を推進し、社会との太いつながりが生まれることを目指す

III KPI

- ①市町村におけるひきこもり相談窓口の設置 全43市町村
- ②市町村プラットフォームの設置 全43市町村

IV 主な取組等

- 自立相談支援機関のアウトリーチ支援員による、ひきこもり家庭に対する訪問支援体制を強化
- ひきこもり状態にある方やその家族が、より身近な市町村において容易に相談できる環境を整備するために、市町村の相談窓口を明確化し、広報等により住民への周知を図る